

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 シーマ

コード番号 7638 URL <http://www.cima-ir.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 白石 幸栄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長

(氏名) 松橋 英一

TEL 03-3567-8098

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 2,177 | △16.0 | △166 | — | △169 | — | △112 | — |
| 23年3月期第1四半期 | 2,590 | △1.9 | 16 | — | 16 | — | 6 | — |

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △112百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 6百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第1四半期 | △0.61 | — |
| 23年3月期第1四半期 | 0.04 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 9,076 | 5,496 | 60.6 |
| 23年3月期 | 9,397 | 5,792 | 61.6 |

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 5,496百万円 23年3月期 5,792百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 1.00 | 1.00 |
| 24年3月期 | — | — | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 1.00 | 1.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 5,226 | △8.2 | 25 | △92.0 | 12 | △96.1 | 2 | △98.5 | 0.01 |
| 通期 | 11,122 | 0.0 | 526 | 7.1 | 502 | 3.2 | 222 | 21.1 | 1.21 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|---------------|--------|---------------|
| 24年3月期1Q | 183,765,644 株 | 23年3月期 | 183,765,644 株 |
|----------|---------------|--------|---------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-------|--------|-------|
| 24年3月期1Q | 772 株 | 23年3月期 | 763 株 |
|----------|-------|--------|-------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 24年3月期1Q | 183,764,880 株 | 23年3月期1Q | 183,764,918 株 |
|----------|---------------|----------|---------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、四半期決算短信[添付書類]P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 4 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）におけるわが国経済は、政府の各種政策効果などを背景に、景気に緩やかな回復の兆しがみられましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響による国内の生産活動の低下に加え、個人消費や雇用情勢が依然として厳しいなど、景気のかげりをぬぐえない状況となりました。

また、景気の先行きについては、海外経済の回復がさらに緩やかになることが予想されること、電力供給の制約や原子力災害および原油高の影響、円高やデフレーションの進行など、景気を下押しするリスクが未だ存在することから、不透明な状況が続くものと予想されます。

このような経済状況のもと、当社および当社の関係会社（以下、当社グループという）の主力であるブライダルジュエリー事業（銀座ダイヤモンドシライシ、エクセルコダイヤモンド、ホワイトベルの3ブランド等）は、景気悪化の影響などによる個人消費の低迷が続く、企業間競争が一層増すなど、厳しい経営環境下での営業となりました。

当第1四半期連結累計期間においては、お客様の消費マインドの低迷への対策として、集客活動の強化以外にも、ブランド認知度の向上のための広告誌面の改善にも取り組みました。

当社は、売上高を伸ばすため、以下の施策を実施するとともに、経費削減の徹底、業務改善の推進に引き続き全社で取り組みました。しかしながら、期待を下回る集客結果となったため、売上は伸び悩み、利益を捻出することができませんでした。

売上が減少した主な理由としては、平成23年3月11日の東日本大震災の影響により、仙台地区において約1ヵ月半余の営業停止を余儀なくされた店舗が発生したことに加え、計画停電の実施により一部の店舗において営業に支障をきたす店舗が発生したことなどが、3月・4月の営業活動に大きく影響したためです。

その結果、3月末・4月末での受注残高が計画を下回り、4月・5月の売上は計画に対して厳しい結果となり、当連結会計年度のスタートが遅れたかたちとなりました。

結果として、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高21億77百万円（前年同四半期比16.0%減）、営業損失1億66百万円（前年同四半期は営業利益16百万円）、経常損失1億69百万円（前年同四半期は経常利益16百万円）、四半期純損失1億12百万円（前年同四半期は四半期純利益6百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間の売上総利益率は68.2%となり、高い水準を維持しました。

なお、当第1四半期連結累計期間における主な施策などは、以下のとおりです。

1) 新店舗2店開設および、増床1店舗

当第1四半期連結累計期間に、以下の3店舗を増床、開設しました。

4月29日 「エクセルコダイヤモンド 青山店」の3階フロアを増床。

5月28日 「銀座ダイヤモンドシライシ 姫路店」を開設。

6月25日 「銀座ダイヤモンドシライシ 神戸三宮店」を開設。

2) 商品力強化

当第1四半期連結累計期間に、以下の新商品を発表しました。

(銀座ダイヤモンドシライシ)

・新作オリジナルセットリング“i n o (イーノ)”を6月23日に発表。

(ホワイトベル)

・新作オリジナルセットリング“K a n o n (カノン)”を5月21日に発表。

3) 提携先ホテル・式場数の増大と提携関係のさらなる強化を推進

4) 集客力強化

新たな集客チャネルの開拓を推進するとともに、独自のノウハウをもとに前期より本格稼働した集客活動を全国各地で実施し、売上に寄与してきました。

また、ブランド別の売上、販売・サービス別の売上は、以下のとおりです。

①ブランド別売上高

| セグメントの名称 | ブランドの名称など | 当第1四半期連結累計期間(千円) (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | 前年同四半期比 (%) | 構成比(%) |
|--------------|--------------|---|----------------|--------|
| ブライダルジュエリー事業 | 銀座ダイヤモンドシライシ | 1,308,597 | 83.6 | 60.1 |
| | エクセルコダイヤモンド | 743,031 | 87.0 | 34.1 |
| | ホワイトベル | 115,489 | 75.2 | 5.3 |
| | その他(注)2 | 10,382 | 57.6 | 0.5 |
| 合 計 | | 2,177,500 | 84.0 | 100.0 |

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

2. ブライダルジュエリー事業の「その他」は、商品部門売上など本社関連の売上となっています。

②販売・サービス別売上高

| セグメントの名称 | 販売・サービスの名称など | 当第1四半期連結累計期間(千円) (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | 前年同四半期比 (%) | 構成比(%) |
|--------------|---------------|---|----------------|--------|
| ブライダルジュエリー事業 | ブライダルジュエリー販売 | 2,001,049 | 83.0 | 91.9 |
| | ファッションジュエリー販売 | 97,150 | 101.1 | 4.5 |
| | ギフト販売 | 39,295 | 84.9 | 1.8 |
| | ウエディング送客サービス | 11,851 | 84.2 | 0.5 |
| | その他(注)2 | 28,153 | 117.2 | 1.3 |
| 合 計 | | 2,177,500 | 84.0 | 100.0 |

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

2. ブライダルジュエリー事業の「その他」は、ティアラ・レンタルサービス、催事、本社関連などの売上となっています。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

流動資産は、税金、配当金の支払や受注と売上の減少により現金及び預金が減少し、前連結会計年度末に比べて4億6百万円減少して59億4百万円となりました。また、固定資産は、銀座ダイヤモンドシライシ姫路店、神戸三宮店の新設、およびエクセルコダイヤモンド青山店の増床の結果、敷金保証金、内装工事費用等が発生したことにより85百万円増加して31億71百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて3億21百万円減少し、90億76百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、さらなる在庫管理の適正化により仕入を控えたため、支払手形及び買掛金が減少したことや、納税により未払法人税が1億83百万円減少したため、前連結会計年度末に比べて1億16百万円減少して27億74百万円となりました。固定負債は、長期借入金が減少したものの、社債を発行したため、前連結会計年度末に比べて91百万円増加し、8億5百万円となりました。この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて25百万円減少し、35億79百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、利益剰余金が前連結会計年度末に比べて2億95百万円減少したことなどにより、54億96百万円となりました。

結果として、自己資本比率は60.6%となり、当第1四半期連結会計期間末の1株当たり純資産額は29円91銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想については、平成23年5月10日の決算短信で公表した第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

※本資料の上記の予想は、提出日現在において、入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は業況の変化や予期せぬ事象の発生などによって、大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,249,645 | 768,258 |
| 受取手形及び売掛金 | 344,000 | 290,687 |
| 商品及び製品 | 4,461,948 | 4,507,733 |
| 原材料及び貯蔵品 | 64,909 | 65,435 |
| 前払費用 | 107,768 | 125,653 |
| 繰延税金資産 | 83,634 | 149,160 |
| その他 | 17,210 | 14,550 |
| 貸倒引当金 | △17,946 | △16,768 |
| 流動資産合計 | 6,311,170 | 5,904,710 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物附属設備（純額） | 749,151 | 781,097 |
| 車両運搬具（純額） | 86 | 67 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 948,876 | 975,894 |
| 建設仮勘定 | — | 1,260 |
| 有形固定資産合計 | 1,698,114 | 1,758,319 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 39,396 | 39,755 |
| ソフトウェア仮勘定 | — | 5,500 |
| 電話加入権 | 4,932 | 4,932 |
| 無形固定資産合計 | 44,329 | 50,187 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期前払費用 | 35,735 | 33,970 |
| 敷金及び保証金 | 1,131,348 | 1,151,138 |
| 繰延税金資産 | 156,490 | 158,675 |
| その他 | 20,523 | 19,585 |
| 貸倒引当金 | △591 | △556 |
| 投資その他の資産合計 | 1,343,507 | 1,362,813 |
| 固定資産合計 | 3,085,950 | 3,171,320 |
| 資産合計 | 9,397,121 | 9,076,030 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 317,402 | 264,493 |
| 短期借入金 | 1,015,118 | 1,000,021 |
| 1年内償還予定の社債 | 100,000 | 170,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 268,046 | 229,986 |
| 未払金及び未払費用 | 488,624 | 509,075 |
| 未払法人税等 | 209,683 | 26,313 |
| 前受金 | 165,311 | 170,031 |
| その他 | 326,513 | 404,335 |
| 流動負債合計 | 2,890,700 | 2,774,256 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 350,000 | 480,000 |
| 長期借入金 | 90,898 | 52,400 |
| 退職給付引当金 | 221,513 | 230,398 |
| 長期未払金 | 51,660 | 42,671 |
| 固定負債合計 | 714,071 | 805,470 |
| 負債合計 | 3,604,772 | 3,579,726 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,777,743 | 1,777,743 |
| 資本剰余金 | 1,536,643 | 1,536,643 |
| 利益剰余金 | 2,474,641 | 2,178,833 |
| 自己株式 | △72 | △73 |
| 株主資本合計 | 5,788,954 | 5,493,146 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 3,394 | 3,157 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,394 | 3,157 |
| 純資産合計 | 5,792,348 | 5,496,303 |
| 負債純資産合計 | 9,397,121 | 9,076,030 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|-------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 2,590,728 | 2,177,500 |
| 売上原価 | 840,869 | 693,377 |
| 売上総利益 | 1,749,859 | 1,484,123 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,733,110 | 1,651,060 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 16,748 | △166,937 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 73 | 71 |
| 為替差益 | 6,778 | 4,083 |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 1,212 |
| その他 | 324 | 860 |
| 営業外収益合計 | 7,176 | 6,228 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,620 | 6,192 |
| 社債発行費 | — | 2,217 |
| 営業外費用合計 | 7,620 | 8,409 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 16,304 | △169,118 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 2,323 | — |
| 不正事故損失回収益 | 10,734 | — |
| 特別利益合計 | 13,057 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 7,049 |
| 特別損失合計 | — | 7,049 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 29,361 | △176,168 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 11,638 | 3,585 |
| 法人税等調整額 | 11,068 | △67,711 |
| 法人税等合計 | 22,706 | △64,125 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | 6,655 | △112,042 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 6,655 | △112,042 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△) | 6,655 | △112,042 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | △112 | △237 |
| その他の包括利益合計 | △112 | △237 |
| 四半期包括利益 | 6,542 | △112,280 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 6,542 | △112,280 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。